

いわき探検記

2023年4月 Vol.14
地域おこし協力隊
辻村 春香

4月になり、しっかりと春を感じる季節になりましたね。

上土手町付近で桜が咲いており、「早い開花だな～」と思っていたところ、「あれは“十月桜”で、一足早く咲くだけでなく、年2回咲く桜なんだよ」と教えていただきました。

たまに足をとめて、落ち着いた気持ちで周りを見渡すと、新たな発見があるものですね。

ウィンターフェスのスタッフをしました。

去る3月5日（日）、青少年スポーツセンター。

前日もすさまじい陽気で「ウィンターフェス？大丈夫??」と思いながら、当日朝に駆け付けました。さすがに山の上だけあって、平野部と比較して積雪量がまだ多かったので、少し安心しながら…。

しかし朝一で設営を手伝ったりしながら動いていると、結構汗がにじんできました。

この日の私の担当は“こぎんコーナー”。

友人でもある、石田舞子さん（高屋：ゆめみるこぎん館）のワークショップのお手伝い。

こぎん館から古作こぎんを含む数点のこぎん刺しを持参し、ディスプレイは、ブティック経験の長い石田さんのお母さんがメインで担当。

開始30分くらいは、こぎんを見学しにいらっしゃる方ばかりで、ワークショップ参加者がいなかったの、「スポーツイベントだし、あまり人来ないかも」と言っていたのですが…

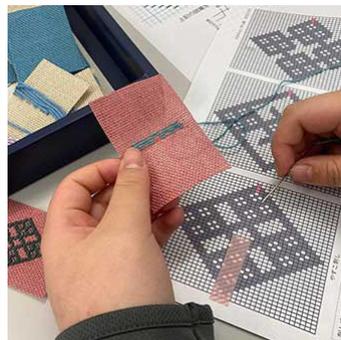
いやはや。馬そりやゴムチューブそりを満喫した後の親子連れが後を絶たず。主に小学生低学年の子が「私やりたい!」と言って、ご両親を巻き込んでの人生初のこぎん刺し!!

こぎんを完成させようとする子供たちの熱意に感動しつつ、昼食をとる暇もなく、イベント時間を迎えました。

親子連れがたくさんご来場・体験をしてくださいましたが、ご両親も「こぎんは初めて」という方が多かったの、あれこれ話をしながら、充実した時間を過ごせました!



良い体験を
させてくださり、
ありがとうございます
♪



5月 居場所づくり “みんなの居場所ステッフ44”

大人も！子どもも!! どんご田植え!

5月20日（土）午前9時～（午前のみ）

大人も！子どもも!! どんご田植え!

集合場所：五代多目的集会所 駐車場



※募集の方法や詳細については、別途チラシを作成予定です。

※現時点で詳細未定…。

※参加してみたいと思う方、いらしたら辻村までご連絡ください!

鳴海要記念陶房館「青森の和ハーブ～身近な植物をいゆす～パネル展」無事終了

静かに始まり、静かに終わった和ハーブ展。(会期：2月23日(木)～3月12日(日))
陸奥新報がイベント情報を掲載してくださったおかげで、多くの方にご来場いただきました。
在廊できたのは、半日×3回だけで、もっと在廊できたらよかった…、と後悔が残ります。

展示を見に来てくださった方の多くは「和ハーブって何？」という、目新しい単語に引き付けられたそう。

「和ハーブ」は、一般社団法人和ハーブ協会の登録商標。同協会は「在来種(日本原産)、あるいは江戸時代以前より日本に広く自生している有用植物」と定義しています。

身近な言葉で「山草・野草と山野の樹木で、江戸時代以前から人の生活に役立ってきた植物」と置き換えられます。

来場者アンケートでは、「お茶にできるというものは試飲してみたい」「料理教室やクラフトのワークショップをしてほしい」「フィールドワークで、山野を案内してほしい」等の要望がありました。

私1人では力不足ですので、地域で詳しい方もしくはあおもり和ハーブの会の先輩方に相談して、要望に応えられるような企画を任期終了までには実現したいですね。



鳴海要記念陶房館での展示の様子。

チェーンソー研修を受けました！

昨年(令和4年)4月末に、葛原町会の薪炭林管理に同行させていただいたことをきっかけに、里山の管理に、実働部隊としてかかわっていきたいと考えるようになりました。(和ハーブの保全・利活用にもつながる活動です)。

ところが、山のことも道具のことも不案内。

いっぽうで、知り合いになった女性農家さんから「木を伐り(切り)たいけれど、気軽に頼める相手がない。あなたに頼めるなら気軽なんだけど…」というお言葉をいただきました。

自分の希望と、後押ししてくれる言葉で決心し、チェーンソーを使えるようになろうと思い、研修を受講。

この研修は「伐木等に係る特別教育」という名で、労働安全衛生法で定められており、労働者として伐木をするときには18時間研修の修了が義務付けられています。

3日間の研修で、伐木する際の事故事例から、危険予知と安全対策、法的な要請等を座学で学んだあと、実機を使ってのチェーンソーの点検・メンテナンスのほか、伐木実習をしっかりとおこないました。

年度末で受講キャンセル等もあり、講師とワンツーマンでの研修となりました。細かいところまで質問でき、集中して実習できたので、役得でした。

慣れないチェーンソーを扱ったため、変なところに力が入っていたこともあり、講習修了後、数日間は筋肉痛に悩まされました。

実際の木を伐るとなると、現場の状況や枝の張り出し方や幹の曲がり方に応じて伐り倒す方向を判断しなければならず、経験が必要なので、これからできる限り多くの現場に足を運びたいと考えています。



伐木研修の座学で使用したテキスト。

令和2年の法改正で研修内容の一部が変更されたそう。



研修で伐った木は廃棄処分すること。「要る？」と聞かれたので、ありがたかったです。

ひろさき未来創生塾 卒塾！

弘前市が実施する、地域づくり人材の育成事業「ひろさき未来創生」の第2期塾生を修了いたしました。

令和3年8月から、「そもそも地域づくりって何?」「地域活動ってどうやれば?」という、地域おこし協力隊になりたてで右も左もわからない状態だったことから、すぐりついた事業でした。

塾生としての活動は、業務外。ですが、担当職員・工藤さんのほか、講師の平井さん・石山さんに伴走していただきながら、本職である岩木地区の協力隊の活動にもフィードバックできる形でプロジェクトを立ち上げて実行してきました。

昨年5月からは「みんなの畑」と称して、初心者ばかりが集まって共同で家庭菜園をおこなったり、草木染め・梅干し・干し柿・味噌づくりをしたりなど、いろんなことにチャレンジしてきました。(畑所在地：葛原地区。ワークショップ会場：岩木地区の様々な施設。)

広報力が弱く、仲間をたくさんは集められませんでした。その分、濃い活動ができたと思います。

今年も5月ころから、去年の畑の仲間に加えながら、岩木地区の畑・施設を拠点に、「食材を育てることから始める食育」と、地域の保存食等の知恵を学ぶ毎年ワークショップをしていきます！



3月18日の成果報告会にて。
発表後に、塾生2人ブースに分かれ、来場者と交流。



成果報告会後の卒塾式にて。
開始時は5名の塾生がいましたが、諸事情で卒塾2名となりました。



卒塾証書を手に記念撮影。
担当職員さんたち(後列)と2人の講師(前列両端)と一緒に。

農村プロデューサー養成講座 修了！

農林水産省が実施する「農村プロデューサー養成講座」は、令和4年5月の座学に始まり、9月の対面実習と地域での実践をおこなうプログラムで実施されました。3月まで、各地域1事例を講師が伴走してプロデュースを実施。4～5か月間の伴走結果を、3月にオンラインで全国の受講生が共有しました。

合言葉は「地域に消えない火を灯せ」。

行政職員の受講生が多かったこともあり、プレイヤーを育てようとする“ひろさき未来創生塾”とは異なり、プロデューサーを育てよう、というのがこちらの研修。

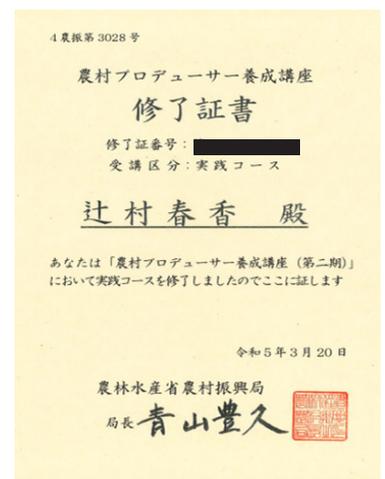
研修を通じてわかったのは、「プレイヤーがいなければプロデューサーは活躍できない」こと。

全国各地の受講生の半数は、プレイヤー自身。

独りよがりな活動にならないよう、プロデューサーとしての視点をプラスできて成長できた、という方もいらっしゃいました。

全国のメンバーが集まる研修だったので、他の地域のおもしろい取り組み・真似できそうな取り組みを知ることができ、また、対面研修でお会いした東北の受講生とつながりができました。

退任後を含め、参加する岩木地区における地域活動に、学んだことを役立てていきたいと思えます。



◆◆ 編集後記 ◆◆

2年目も終盤ということで、さまざまなものが区切りを迎えた月でした。
この1年間を振り返ると、いろんな方に「読んでるよ！」とお声がけいただいたり。
ようやく地域の方と交流がはじめられた1年でした。また、さまざまな情報提供をいただきました。地域の方の温かさをお感じた1年でもありました。
3年目の活動に活かしながら、より一層、あちこちに顔を出したいと思っています。
残り1年を切り、せわしない時期になってきましたが、最後まで全力で走り抜きたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻、どうぞよろしくお願いいたします。

WANTED

空き家を探しています！

探してます！

岩木地区に農業体験等のできる拠点をつくりたいと考えております。

拠点づくりに使える空き家を探しています。

(物件への要望)

- ・ 退任後の居住を見据え、賃貸契約にて貸していただける物件。
- ・ 部屋数多め（5室以上あると嬉しい）。
- ・ リフォーム・リノベーションをしてもよい。
- ・ 車庫や倉庫があれば、なお嬉しい。
- ・ 立地：岩木地区内で、“少し足を延ばせば” 里山や畑に行ける場所。
- ・ 賃料やその他条件⇒相談させてください。



「空き家になる予定があって…」 「親せきに管理をまかされているけど…」 「1部屋だけは立入禁止にしたいけど、それ以外は使ってもらっていいんだけど…」 など。

情報があれば、まずはご一報いただき、お話しさせていただきたく思います！



杏・梅などの放置果樹

相変わらず、放置果樹を募集しています。

柿は、ご協力くださる方がたくさん見つかりました。

ありがとうございます！

枝切りをするものもあり、“果樹の特性について勉強しなきゃ…”と。世の中、学ぶことはまだまだたくさんあるな、と思いました。

そんな私に、梅や杏など、「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけくださいませ！



連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsumimura@city.hirosaki.lg.jp

もろもろ情報
お待ちしております！



「いわき探検記」の直近のバックナンバーは、市のホームページからご覧になれます。古いものは、岩木庁舎でファイルしております。ご覧になりたい方は、岩木庁舎まで。